

地方公務員の給与水準

- ・ラスパイレス指数（※）（全団体平均）は、98.5（昨年より0.2ポイント低下）
→平成16年から6年連続で国家公務員を下回る。
 - ・85.1%の団体（1,571団体）は、ラスパイレス指数が100未満
- ※学歴や経験年数の差による影響を補正し、国家公務員給与を100として計算した指数（H21.4.1現在）

ラスパイレス指数の推移

区分	昭和38年	昭和49年	平成元年	平成11年	平成15年	平成20年	平成21年
全地方公共団体平均	105.5	110.6	103.0	101.2	100.1	98.7	98.5

ラスパイレス指数の最高値・最低値

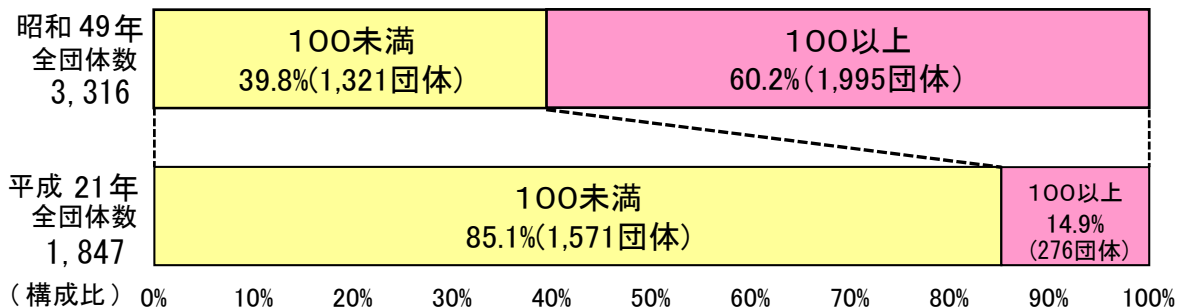
区分	最高値	最低値
都道府県	103.8 (静岡県)	91.9 (岡山県)
指定都市	104.6 (横浜市)	98.0 (堺市)
市区町村	105.4 (東京都府中市)	68.8 (北海道夕張市)

<参考>平均給与月額状況

本給のみで比較するラスパイレス指数は低下しており、諸手当を含む平均給与月額で見ても...

- 国が増加している一方、地方は減少している。
- 地方の方が、平均年齢が高いにもかかわらず、平均給与月額は国を下回っている。

ラスパイレス指数の分布状況



平均給与月額と平均年齢(全職種) (単位:円・歳)

区分	H20	H21	21-20
国(A)	403,984 (41.6)	406,463 (41.9)	2,479 (0.3)
地方(B)	394,608 (43.1)	389,618 (43.1)	△4,990 (0.0)
B-A	△9,376 (1.5)	△16,845 (1.2)	